



# 郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●  
郵政産業労働者ユニオン  
東京地方本部  
発行責任者 田中 孝史  
〒104-0031 中央区京橋 3-6-3  
京橋通郵便局 5F  
TEL・FAX 03-3535-5447  
piwutokyo@yahoo.co.jp

## 第12回地方委員会・6月19日

# 全国大会成功に向けて

# 活発な議論を展

# 20条裁判勝利!

# 大幅増員を!

郵政ユニオン東京地本は、6月19日第12回地方委員会を東部区民事務所で開催し、第7回全国大会に向け議案討論しました。

委員会開催にあたって田中委員長は、「この一年間私たちは郵政20条裁判で画期的な勝利を勝ち取った。しかし、この春闘で非正規社員の待遇を改善する原資として正社員に支給している手当を削減、縮小するということが行われた。これは均等待遇を上に乗合わせるのではなく下にならすというものだ。こんなことは絶対に許してはならない」と力強くあいさつしました。

## 33名が発言

その後、地本執行部から第7回全国大会議案についての見解をしめし、各支部からは補強・意見が出されました。各委員から出され

た意見は、安倍内閣の果たしている役割は極めて危険であること、職場実態では集荷サービスの廃止で職場は大混乱になっている実態、要員不足から連日超過勤務になっていることから36協定時間をオーバーしている実態、高齢者再雇用に関する問題、春闘での闘い方、内部留保の使い道、非正規社員の正社員化と待遇改善を求める



署名、安倍改憲に反対する3000万署名の取り組み、非正規社員の全国交流集会と本社前行動の教訓、時給の引き上げで局長判断が変更している問題、深夜労働改善、ネットワーク再編に対する総括、20条裁判、ホームページ更新、ユニオンカフェ、組織拡大・労働相談、出退勤システム、非正規の健康診断等33名から一号議案、二号議案、三号議案、四号議案にまで出されました。

そのような意見まとめながら、全国大会の代議員に意見反映を行なってもらいたいと思います。

また、その他の項目にて、次期東京地本執行委員の定数を確認し、地本大会までの日程確認及び、大会以降の予定行事等を確認し、最後に田中委員長の団結ガンバローで締めました。

地方委員のみなさま一日お疲れさまでした。全国大会成功に向けて、また地本大会成功に向けて、組織の飛躍・前進目指して頑張っていきましょう。



昨年も三六協定ギリギリまで超勤がかけられたとの

報告が大会などでされていきました。その事を聞かされた時に、「社員を増やせばいいの」に「と思うのですが、会社の方は今いる人数でなんとかしようとしています」▼欧米では、仕事の量が多く人員数に見合わない場合、超勤をやらせるよりは、人を増やした方が会社にとっても有益である、との考え方があります▼仮に8人の部署で、全員が毎日一時間の超勤をしているとすると、割増分を0.25としても一日十時間分の賃金を支払うことになります。ところが、人員を一人増やし、超勤をしないようにすると、一日あたり支払う賃金は八時間分ですみます▼つまり、会社側にすれば、中長期的な人件費を減らすことができ、労働者にとっても雇用が増えるという双方にとって利点があるという考え方です。こういうことでもあると検討してもいいのではないのでしょうか?

(m)

# シリーズ



## 「安倍政治を問う」

### 賭博を合法化？

12

6月14日に安倍政権は「カジノ法案」こと統合型リゾート(IR)実施法案を強行採決しました。この「カジノ法案」はその名の通り刑法で禁じられている賭博場、カジノを解禁し合法化するというものだ。安倍首相はこの法案について「観光立国の実現に向け、世界中から観光客を集める滞在型観光を推進する」と訴えますが、この主張には大きな疑問が残ります。

自治体の調査では「カジノ入場者の7〜8割は日本人と想定される」という結果が出ていますし、医師、専門家からは「パチンコやスロットなどでも問題となっているギャンブル依存症患者を増加させる」という懸念が示されてきたからです。そして今回採決された法案には、新たに「特定資金貸付業務」という項目が含まれており、それはカジノ事業者が客に賭け金を貸し付けることを認めるものです。これではギャンブルにのめりこんだことによる多重債務者も増加することになります。

「カジノ」管理委員会の設置といたったことも議題に挙がっていました。しかし前者は与党協議において削除されました。上限は曖昧なままになりました。後者はその委員会内にカジノに精通した人間にカジノ運営事業者を入れる可能性があることを石井国交相が認める発言をしており、規制どころかカジノを推進する機関になりかねないという問題も孕んでいます。

このように問題が次々指摘されている法案に、野党は50時間以上の審議を要求してきました。しかし、強行採決に至るまでに行われた審議はたったの18時間です。強行採決の際も野党は審議の継続を要求しましたが委員長がそのまま裁決を強行し、現在に至っています。

与党には法案の問題点や危険性を改めようとするような自浄作用が全くなく、数の力で法案を押し通してしまつたのです。以前取り上げた働き方改革の目玉「高度プロフェッショナル制度」と同様、この「カジノ法案」も決して許してはイケない危険な法案です。私たちはこれからも廃案を求めていこう。

## 今年の夏も 納涼 東京湾・クルージング

7月28日(土) 18:00

竹芝棧橋集合

飲み放題

参加費 正社員 4,000円

非正規 3,000円



魂珀の塔・6月23日慰霊の日

## 沖縄ピースサイクル 元気に走る！



## 郵政労契法20条裁判

### 第4回控訴審・結審

8月2日(木) 14:00~

東京高裁822号法廷

多数の傍聴を！

### 当面の行動日程

7月5(木)〜7日(土)

第7回定期全国大会

7月7日(土)

地本執行委員会

7月14日(土)

15日(日)

女性部定期大会

7月21日(土)

22日(日)

第1回全国書記長会議

7月28日(土)

第7回地本定期大会

東京湾クルージング

8月2日(木)

郵政労契法20条

東日本控訴審

